

No	77			No(再掲)	
該当箇所番号	3	-	15	-	-
	該当箇所番号(再掲の場合)			3	-

施策名	パークボランティア活動の推進
-----	----------------

担当部局	環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室、中国四国地方環境事務所
------	----------------------------------

施策の概要	<p>1) 国立公園の保護管理、利用者指導又はこれらの一環として行われる各種活動について、広く国民の参加を得ることを通じ、これらの活動の一層の充実を図るとともに、自然保護思想の普及啓発を図ることを目的として、昭和60年に地方環境事務所長が登録するパークボランティア制度を設置した。</p> <p>2) パークボランティアの活動は、自然解説、利用者指導、野生動植物の保護管理、美化清掃等への協力を内容としており、地方環境事務所は、パークボランティアの活動を適切に運営するため、必要な体制の整備、研修等を通じた情報の提供、便宜の供与等を行う。</p> <p>3) 現在、23国立公園の39地区において、年度ごと地方環境事務所長がとりまとめるパークボランティア活動実施計画に基づき、約1,800人の方が自発的に活動している。</p>
-------	---

瀬戸内海関係地域での実施事例	<p>中国四国地方環境事務所管内(瀬戸内海国立公園に係るもの)においては、平成17年度に、香川県坂出市五色台地区、岡山県倉敷市鷲羽山地区、広島県廿日市市宮島地区の3地区でそれぞれのパークボランティアが活動を実施し、延べ700人が参加した。</p> <p>【宮島地区の事例】</p> <p>1) 宮島地区においては、主たる活動場所を瀬戸内海国立公園宮島として、平成12年から活動を開始している。</p> <p>2) 登録者は平成17年度末で44人となっており、次の活動を行っている。平成17年度の活動延べ人数は約330人。 環境省が実施している自然観察会のサポート 環境省が、小中学生に各種の環境保全活動を体験してもらうことにより、自然とのふれあいを推進し、環境の大切さを学ぶ機会を提供することを目的に行っている「子どもパークレンジャー」事業のサポート 登山道や標識の補修 園地、園路、海岸等の清掃活動</p> <p>3) ボランティア同士の交流、研鑽のため「瀬戸内海国立公園宮島地区パークボランティアの会」を組織し、2) 以外に独自に観察会や研修会を開催している。</p>
----------------	--

活動状況を示すデータ		人数は延人数である。										
項目1	各種行事のサポート											
年度	H14		H15		H16							
	3事業	81人	3事業	80人	2事業	46人						
項目2	自然観察会の実施											
年度	H14		H15		H16							
	4回	86人	4回	85人	6回	154人						
項目3	清掃活動											
年度	H14		H15		H16							
	3回	100人	4回	120人	5回	126人						
項目4	研修会											
年度	H14		H15		H16							
	4回	74人	4回	60人	3回	61人						
項目5	広報・啓発活動											
年度	H14		H15		H16							
	4回	40人	4回	30人	4回	40人						

No	78			No(再掲)	
該当箇所番号	3	-	15	-	-
該当箇所番号 (再掲の場合)	3	-	-	-	-

施策名	みなとオアシスの推進
-----	------------

担当部局	国土交通省港湾局開発課
------	-------------

施策の概要	<p>「みなとオアシス」の概要 海浜や旅客ターミナル、広場など、「みなと」の施設やスペースを活用した住民参加型の継続的な地域振興の交流拠点となる「みなとオアシス」を東北、中国、四国地方に展開し、地域の方々や観光客など多くの人が気軽に立ち寄り交流する憩いの場としている。</p> <p>設置主体 対象地区の市町村 運営主体 対象地区の市町村、住民団体等 施設構成 港湾施設 旅客ターミナル、人工海浜、マリーナ等 ・基本施設 情報発信施設、交流スペース、トイレ、駐車場等 ・付加施設 物販施設、観光施設等地域特性を反映した施設</p> <p>主な支援施策 事業計画策定への支援 「みなとオアシス」シンボルマーク使用の許可 所管港湾・海岸事業による支援 整備同情報提供システム掲載等による重点PR 公共施設利用面での規制緩和の支援 公的地図等関連事業での支援 等</p> <p>主な登録要件 住民参加をベースに、地元市町村及び港湾管理者との連携・調整が取れていること。 明確な地域コンセプト、ソフト面を重視。 情報提供機能、交流スペース提供機能、トイレ、駐車場が提供されていること。 一過性のイベント等で終わるのではなく、取り組みが継続される計画・運営体制となっていること。</p>
	<p>瀬戸内海のみなとオアシス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みなとオアシス瀬戸田」(瀬戸田港 広島県瀬戸田町) H16.1登録 ・「潮風公園みなとオアシスゆう」(由宇港 山口県由宇町) H17.7登録 ・「みなとオアシス伯方」(枝越港 愛媛県今治市) H16.8登録 ・「小松島みなとオアシス」(徳島小松島港 徳島県小松島市) H16.8登録 ・「八幡浜港みなとオアシス」(八幡浜港愛媛県八幡浜市) H17.8登録 ・「みなとオアシス 大坂城残石記念公園」(北浦港 香川県土庄町) H17.8登録 <p>「みなとオアシス」検討中のみなと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇野港」 みなとオアシス宇野(仮称) (岡山県玉野市) ・「蒲刈港」 みなとオアシス蒲刈(仮称) (広島県呉市) ・「西郷港」 西郷みなとオアシス(仮称) (島根県隠岐の島町) ・「忠海港」 みなとオアシスただのうみ(仮称) (広島県竹原市) ・「宇多津港」 みなとオアシスうたづウミホテル(仮称) (香川県宇多津町)

瀬戸内海関係地域での実施事例	<p>瀬戸内海のみなとオアシス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みなとオアシス瀬戸田」(瀬戸田港 広島県瀬戸田町) H16.1登録 ・「潮風公園みなとオアシスゆう」(由宇港 山口県由宇町) H17.7登録 ・「みなとオアシス伯方」(枝越港 愛媛県今治市) H16.8登録 ・「小松島みなとオアシス」(徳島小松島港 徳島県小松島市) H16.8登録 ・「八幡浜港みなとオアシス」(八幡浜港愛媛県八幡浜市) H17.8登録 ・「みなとオアシス 大坂城残石記念公園」(北浦港 香川県土庄町) H17.8登録 <p>「みなとオアシス」検討中のみなと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇野港」 みなとオアシス宇野(仮称) (岡山県玉野市) ・「蒲刈港」 みなとオアシス蒲刈(仮称) (広島県呉市) ・「西郷港」 西郷みなとオアシス(仮称) (島根県隠岐の島町) ・「忠海港」 みなとオアシスただのうみ(仮称) (広島県竹原市) ・「宇多津港」 みなとオアシスうたづウミホテル(仮称) (香川県宇多津町)

進捗状況を示すデータ														
項目1	みなとオアシスの登録数(累計)										単位	地域	対象地域	全国
年度	15	16	17											
	2	5	15											
項目2	みなとオアシスの登録数(累計)										単位	地域	対象地域	瀬戸内海地域
年度	15	16	17											
	1	3	6											
項目3											単位		対象地域	
年度														

No	79	No(再掲)	
該当箇所番号	3 - 15 -	該当箇所番号 (再掲の場合)	- - -

施策名	瀬戸内海における環境学習の取り組み事例
-----	---------------------

担当部局	近畿地方環境事務所
------	-----------

施策の概要	<p>1 瀬戸内海における環境学習の取り組み事例としては、環境省が文部科学省と共催で毎年度、全国各地で開催している「環境教育リーダー研修基礎講座」のうち、近畿地区において、近畿地区環境対策調査官事務所(現、近畿地方環境事務所)が実施主体で平成16年度に兵庫県西宮市で開催した講座が該当する。</p> <p>2 本講座の目的は、環境教育・環境学習を推進する人材として重要な役割が期待される学校教員及び地域の活動実践リーダーを対象に、基本的知識の習得と体験学習を重視した研修を行い、指導者としての能力を養成するとともに、参加者相互の交流によりパートナーシップ構築の礎を築き、もって、学校の児童生徒や地域の人々に対する環境教育・環境学習の推進に資することとしている。</p> <p>3 本講座のカリキュラムは、以下の内容を中心としている。 (1)環境教育・環境学習に関する基本的知識の習得 (2)学校や地域における環境教育・環境学習のすすめ方 (3)体験型環境教育プログラムの作成、実施</p> <p>4 本講座は、平成15年度以降、全国5地区で開催されている(平成18年度以降は7地区での開催を予定)。</p>
-------	--

瀬戸内海関係地域での実施事例	<p>平成16年度に近畿地区で開催の上記講座カリキュラムのうち、本計画に関連したプログラムは以下のとおりである。</p> <p>1 「まちの歴史・文化・自然から地域を考える」 会場である西宮市の自然及び歴史をテーマとした講義において、甲子園浜の環境保全の取り組みに関する歴史等、瀬戸内海の環境保全を取り上げた。</p> <p>2 「海辺の自然観察」 環境省指定鳥獣保護区である甲子園浜において、受講者が海浜に生息する動植物の生態観察等を行うカリキュラムを体験した。</p>
----------------	--

進捗状況を示すデータ														
項目1	H16年度環境教育リーダー研修基礎講座(近畿地区)参加者								単位	t/日	対象地域	瀬戸法対象地域		
年度	H16										1			
	56													
項目2									単位	t/日	対象地域	瀬戸法対象地域		
年度														
項目3									単位	t/日	対象地域	瀬戸法対象地域		
年度														



「まちの歴史・文化・自然から地域を考える」の様



「海辺の自然観察」の様